

本質的な問い 自然とともに生きるには、何ができるか。

単元名 天応自然守り隊！～ええじゃん！いつまでものこそう 天応の山・川・海～

児童生徒の実態

- (1) 地域である天応について、校歌に出てくる「天狗城」など一部の知識はあるが、天応の自然や生き物についてはあまり関心がなく、生活との関わりも実感しにくい児童が多い。
- (2) タブレットが一人1台あることで、情報をすぐに調べることができるが、得た情報を整理したり、比較したりする力には個人差があり、必要な情報を取捨選択する力を今後育てていく必要がある。
- (3) 「自ら課題を発見し、探究している」の設問（5月）において肯定的回答をした児童は22名（61%）であった。また、グループで意見を出し合いながら協力して考えることや相手の意見を聞く姿勢に課題が見られる児童もいる。



目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- (1) 【知識・技能】（情報収集力）
 - ・自然についてのよさと恐ろしさを理解している。
 - ・いろいろな体験や人との出会いの中から必要な情報を集めている。
- (2) 【思考力・判断力・表現力等】（情報活用能力及び批判的思考力）
 - ・自ら課題を発見し、課題解決に向けて学習計画を立て、収集した情報を比較したり、分類したり、特徴付けしたりしながら、分析している。
 - ・発信したい内容を分かりやすく伝えるための方法を考え、根拠を明確にし、相手に応じて分かりやすく表現している。
- (3) 【学びに向かう力、人間性等】（協働性及び挑戦心）
 - ・課題の解決に向けて、仲間と協力しながら、進んで学習に取り組んでいる。

単元を貫く問い 天応の自然をずっと大切にしていくには、私たちにどんなことができるだろうか。
【探究課題 地域の自然環境とそこに生息する生き物の多様性の変化】

【第3次】（20時間） 課題 天応自然守り隊出動！！

個別の問い

- ・天応の自然をみんなが守っていくためには、何ができるだろう。
- ・道徳で学んだように考えるだけでなく、行動に移していくためには何ができるだろう。
- ・天応の自然を守るために、今の自分に何ができるだろう。
- ・天応の自然を伝えるためにどのようなことを意識すればよいのだろうか。
- ・この学習を通して、自分たちが地域にどんな関わり方ができるようになっただろうか。

道徳教材

天応の海

自分自身

（しかけ）

天応の自然を守っていくために、どのような活動ができるかを考えさせるしかけとして、自然を守ることを題材にした道徳教材を扱ったり、地域に自然のよさを伝えるポスター等を掲示したりする。

【第2次】（30時間） 課題 天応の自然伝え隊！

個別の問い

- ・天応の自然のよさだけを伝えることでよいのだろうか。
- ・自然の「よさ」と「おそろしさ」をくらべて、分かることは何だろう。
- ・天応の自然を守る技って何だろう。
- ・自分たちの思いを伝えるマップや文化祭の発表に何を入れればよいだろう。
- ・天応の「よさ」と「おそろしさ」、天応の自然を大切にしていこうという思いがみんなに伝わっただろうか。

天応市民センターの人からのアドバイス

自治会長

地域の生き物博士

校内理科博士

民生委員児童委員

（しかけ）

地域の自然に詳しい方から、子供たちが作った自然マップを地域の多くの人に広く伝えてほしいという依頼があったことをきっかけに、「天応の自然のよさをどう伝えるか」「よさだけでよいのか」と問うことでより自然について考えるしかけとする。

【第1次】（20時間） 課題 天応の自然をもっと知り隊！

個別の問い

- ・今の天応と比べて、変わったこと・変わらないことって何だろう。
- ・なぜ校歌に天狗城山が出てくるのだろう。
- ・天応自慢の自然には、どのような美しさや特徴があるのだろうか。
- ・天応の自然に詳しい博士はいないだろうか。
- ・なぜ生き物が昔と比べて減ってきたのだろうか。

校歌の作詞作曲をされた先生のお話

インターネット・本

天狗城山

地域の自然博士

（しかけ）

学校に掲示されていた“30年前の天応生き物地図との出会い”から「今の天応と比べて、変わったこと・変わらないことって何だろう？」という課題をもつことにより「天応のことをよく知ってより多くの人に天応のよさを伝えたい。」と意欲をもつようになる。

3サイクル 「天応自然守り隊出動！！」

【課題の設定】
 ・天応の自然を守るためにどんな行動ができるかという課題をもつ。

天応の自然を守るために自分たちにできることは何だろう。



【まとめ・表現】
 ・整理したことをパネルシアターにして天応のみんなに伝え、天応の自然をみんなに守ってもらえるようにしよう。

天応守り隊として、これからもずっと続けていけることをみんなで考え、守っていこう。



【情報の収集】
 ・天応の自然を守る取組として、天応の大屋川や海に行き、ゴミ拾いをする。

こんなに川や海にゴミがあるなんて知らなかった。



【整理・分析】
 ・ゴミ拾いをして分かったこと、これから天応の人たちに伝えていくことを整理して、パネルシアターで伝えていこう。

分けてみると川に必要なものを捨てる人が、こんなに多いのが分かるね。このこともパネルシアターのお話に入れよう。



2サイクル 「天応の自然伝え隊！」

【課題の設定】
 ・天応自然マップで、自然のよさを伝えるだけで、本当に天応の自然の全てを伝えられるだろうかという課題をもつ。



自然マップは完成と思っていたけど、まだまだ伝えることってある。自然のよさだけでなく本当に自然がわかったと言えないと思う。どんなことを付け加えていったらいいかな。

【まとめ・表現】
 ・自然には、やさしさだけではなく、おそろしさもある。
 ・おそろしさを「天応自然マップ」に付け加える。

ほくたち伝え隊が「よさ」だけでなく「おそろしさ」も伝えないと天応の自然を守れないよね。



【情報の収集】
 ・自治会長から「天応の歴史」や「西日本豪雨」の話聞く。
 ・校内の理科博士（後期課程の理科教員）に「自然のおそろしさ」（山・川・海）を学ぶ。

自然はやさしいだけでなく、おそろしい所もたくさんあることに気付いたよ。



【整理・分析】
 ・山・川・海の「やさしさ」「おそろしさ」を整理分析する。

よさだけでなく、おそろしさも伝えることが天応自然守り隊として大切な使命だよ。



1サイクル 「天応の自然をもっと知り隊！」

【課題の設定】
 ・30年前の天応マップから当時と今の天応の自然の違いに気付く。
 ・なぜ、生き物が減ってきているのか知りたいな。



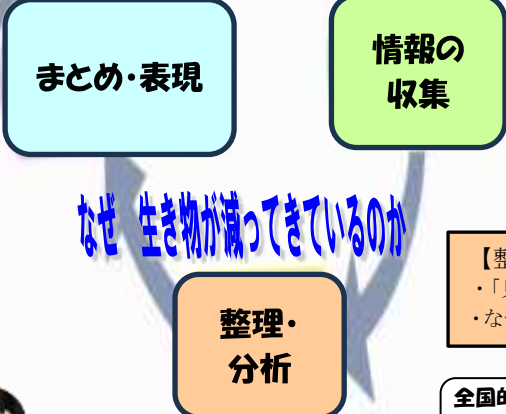
ほくらの天応は、山・川・海に囲まれた自然が豊かで素敵なお所！でも昔と今をくらべると、どんどん生き物が減ってきているんだって。ほくらにできることって何だろう。

【まとめ・表現】
 ・見つけた天応の自然のよさをカードにまとめ、「天応自然マップ」を作る。

作った自然マップを使って天応の自然について多くの人に知ってもらいたい。



天応の自然をもっと知り隊！



【情報の収集】
 ・校歌に登場する「天狗城山」に登り、植物や生き物を観察・記録する。



【整理・分析】
 ・「見つけてきたもの」を分類・整理する。
 ・なぜ生き物が減ってくるのか、理科の学習から振り返って考える。

全国的にもめずらしい植物をみつけたよ。この植物がなくなったら、生き物もいなくなるんだって。大事な天応の植物や生き物を守っていかないといいね。



なぜ 生き物が減ってきているのか